

地域連携シンポジウム

美濃加茂市の地域課題解決に向けて

～ 人・もの・おかね・情報の有効活用と
地域特性を生かした生涯学習の推進～

美濃加茂市長 渡辺直由

もくじ

美濃加茂市の概要
定住自立圏構想について
美濃加茂市の生涯学習
生涯学習の広域連携
自治体と大学の連携意義
これから

美濃加茂市の概要

人口： 55,135 人

高齢化率： 18.65%

(H21.12末)

平成22年度から、美濃加茂市第5次総合計画がスタート

「まあるいまち、みのかも」

共通目標： みんながそれぞれの役割をもって、
だれもが活躍できるまちをつくれます！

市民協働によるまちづくりへ

今、自治体は・・・

地方分権時代の地方自治体に求められるのは

市民協働のまちづくり

- 市民ニーズを反映した「政策の実効性」の確保
- 多様化する市民ニーズの変化のなか、市民とのパートナーシップによる経営

「市民力」の強化が急務

美濃加茂市第5次総合計画の実現

定住自立圏構想推進要綱の概要



美濃加茂市 定住自立圏形成協定の概要



中心市名	人口（人）	昼夜間人口比率
美濃加茂市	52,133	1.054

周辺市町村名	人口（人）	周辺市町村名	人口（人）
坂祝町	8,552	圏域合計	60,685

※平成17年国勢調査

○美濃加茂市と坂祝町間の定住自立圏形成協定の概要

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
 - 病診連携の強化
- イ 教育
 - 外国籍児童・生徒に対する教育環境の整備
 - 公共施設の共同利用の推進
 - スポーツ・文化団体等の交流の促進
- ウ 産業振興
 - 農商工連携による地域ブランドの開発
 - 木曾川や旧中山道を活用した観光の推進
 - ものづくり観光の推進
 - 産業活性化のための実践的職業訓練の促進
 - 農業の振興

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通の整備
 - 地域公共交通ネットワークの推進
- イ 道路等のインフラ整備
 - 都市計画区域の統合
 - 生活幹線道路の整備
 - 生活インフラの相互利用
- ウ 地域住民の交流促進
 - 多文化共生の推進

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ア 人材の育成・交流
 - 職員の合同研修及び人材交流
- イ 外部からの行政及び民間人材の確保
 - 外部の専門的な人材の登用
- ウ 圏域行政事務の共同化
 - 行政事務の効率運用

総務省HPから

美濃加茂市の生涯学習

特徴

■ 市民協働の実践

1. 平成21年4月

教育委員会 → 市長部局へ

■ ハード面

1. 中央公民館と地区公民館

3館、連絡所併設公民館

7箇所 → 老朽化



美濃加茂市の生涯学習

課題

- 社会的生活の充実のための生涯学習は低調
(例) 1. 環境や高齢化など現代的課題や専門的なテーマに関する学習が少ない。
- 生涯学習機関等との連携・協力が不十分

課題解決への取り組み

地域内の生涯学習の相互活用
高等教育機関との連携

生涯学習事業の広域連携

現在の生涯学習事業

坂祝町の人口
8,618人

美濃加茂市
生涯学習

美濃加茂市の人口
55,135人

区域内の住民

坂祝町
社会教育

A町
社会教育

主に区域内の住民

区域内の住民

現在、各自治体では、主に区域内住民を対象とした生涯学習を展開している。限られた予算の中、限られた住民が対象となっている。

生涯学習事業の広域連携



1. エリア内の生涯学習事業を相互活用することにより、多種多様な生涯学習場の提供が可能
2. 住民の交流促進とコストの削減
3. ネットワーク大学コンソーシアム岐阜との連携により、生涯学習事業の拡大へ

自治体と大学との連携

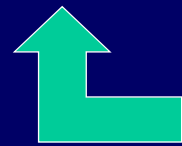
意義

自治体の資源

人	地域住民、自治体職員など
物	公民館や生涯学習などの公共施設など
情報	地域情報など

大学の資源

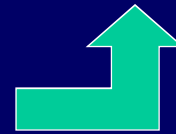
人	大学教員、大学生など
物	大学施設や設備など
情報	専門的知識など



地域課題の解決
市民力の強化へ

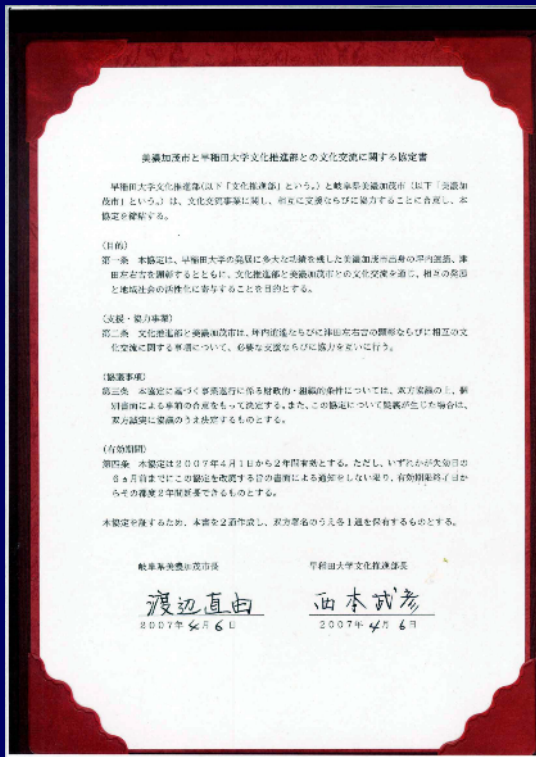


【連携により、地域課題解決へ】
少子高齢化
まちづくり など



地域課題解決に向け
取り組んだデータの蓄積

自治体と大学との連携



2007年、早稲田大学と「文化交流協定」を制定。

この年から早稲田大学と隔年で坪内逍遙大賞をはじめ双方で文化事業を協力して実施することとなった。

自治体と大学との連携



坪内逍遙

美濃加茂市が生んだ日本近代文学の先駆者で、新しい国劇の樹立を目指した坪内逍遙。逍遙の功績を称え、市民文化の向上を図るため、市制40周年を記念し1994年に「坪内逍遙大賞」を制定。

2008 第12回坪内逍遙大賞
受賞者 中村吉右衛門氏

自治体と大学との連携



早稲田大学演劇部のワークショップ

お互いの資料を利用した展覧会の開催や早稲田大学の演劇部の学生がみのかも文化の森でワークショップ、合宿、公演、を行っている。

自治体と大学との連携



美濃加茂市の場合：大学生や高校生らが、地元商店主らと商店街の活性化を考える「星の街わいわいサミット」を開催

2010.2.5 「第3回 星の街わいわいサミット」

これから

これからの地域内の生涯学習

■ 目標

1. 学習ニーズの多様化、個別化が進展する中、それに対応する学習機会の充実
2. 生活圏の広域化が進む中、地域特性を生かした生涯学習の推進
3. 地域内住民の交流促進による、地域の活性化
4. 隣接自治体との連携・ネットワークによるコストリダクション
5. 生涯学習機関等連携による、まちづくり